

# 生きる仲間

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可  
H・S・K通巻332号

- ◎発行日 平成11年11月10日  
(毎月10日発行)
- ◎発行責任者 鈴木 啓三
- ◎編集 札幌腎臓病患者友の会  
札幌市東区北18条東1丁目  
喫茶クインテス内
- ◎発行所 北海道身体障害者団体  
定期刊行物協会

**結成25周年記念式典並びに祝賀会開催!!**  
**お楽しみ炊事遠足～滝野すずらん公園**  
**第1回臓器移植推進全国大会(札幌市)**



札幌腎臓病患者友の会

# 並びに祝賀会開催!!

## より大きく、より健やかに～

平成十一年十月三日(月)ホテルKKR札幌五階丹頂の間において札幌腎臓病患者友の会結成二十五周年記念式典並びに祝賀会が開催されました。

すがすがしい秋晴れの朝を迎え会員ご家族と来賓者を含め、一六名の参加を頂き、第一部式典が予定どおり昼二時より村本事務局次長の司会で始まり開会宣言で幕明け致しました。

引き続き黙とうを行なった後、鈴木会長の「現在透析療法は急速に進歩し私たちの医療と福祉は、当時と比べものにならないくらい良くなって来ました。しかし両は医療と福祉の後退や弱者の切り捨てをしようとしています。また、患者の高齢化や長期透析による合併症・要介護問題等沢山の問題が出て来ています。私たちは今すべての透析患者さんに腎友会活動が本当に必要な事を認識していただき、二一世紀に向かってより強く、より大きく、より健やかに会員の皆様がお元気な毎日を送れる様、より一層発展させて行きま

しょう」との挨拶があり、改めて身の引き締まる思いが致しました。

また、来賓の北海道透析医学会長今忠正先生、札幌透析医学会会長中野幸雄先生、道腎協会長岩崎薫氏よりお祝いのお言葉をいただきました。

次に中村ひとみ実行委員より祝電・メッセージが披露されました。つづいて本日のメインである長期透析患者の表彰式に入り二五年以上の表彰者四六名、二〇年以上二五年未満一〇三名、一〇年以上二五年未満二〇六名の表彰者のうち式典に出席された表彰者五〇名に、会長より直接ステージで表彰状と記念品が授与されました。

おわりに二五年表彰者の山川信氏(中野医院)より表彰者代表としてのごあいさつが有り「四二歳から透析に入り今年七〇歳を迎えました。当初は生存記録がなく何年生きるか判らないという誠に不安な状態でございました。今ここに二五年表彰を迎えまして誠に有りがとうございます」とのお話に、今日最新の技術を利用して私た

ちは、より一層頑張つて元気に長生きする事を強く感じました。

第二部祝賀会に入り室蘭地方腎友会会長佐藤利國氏による乾杯の音頭で宴へと移りました。アトラクションでは留日恭子さん率いる一行(六名)による梅后流江戸芸「かつぱれ」が華やかに披露されました。祝賀会の雰囲気を感じ上げて頂き

ました。最後にお楽しみ抽選会があり、皆さん当たり番号が出るたびに歓声が上がりました。賞品が当たり楽しんでました。

最後に宮本副会長より開会のあいさつで幕を閉じさせていただきました。会員・ご家族・医療スタッフ皆様のご理解、ご支援を戴き無事に終了する事ができました。有りがとうございました。

五月より長期間にわたり準備に力をそそいで戴いた実行委員と役員の皆様大変お疲れさまでした。尚、来賓の方及び祝電・メッセージ・御祝儀・御寄附を次の通り頂戴しております。紙上をもって御礼申し上げます。

(報告 柳沼実行委員長)

# 結成25周年記念式典

～21世紀に向って、より強く、



式典であいさつをする鈴木啓三会長

来賓

北海道透析医会

会長 今 忠正 様

札幌透析医会

会長 中野 幸雄 様

北海道腎臓病患者連絡協議会

会長 岩崎 薫 様

室蘭地方腎友会

会長 佐藤 利國 様

小樽・後志地方腎友会

会長 斉藤 子 様

事務局長 北 征子 様

旭川地方腎友会

副会長 青柳 正一 様

祝電・メッセージ

市立札幌病院腎移植科

部長 平野 哲夫 様

○ 社団法人全国腎臓病協議会様

○ 道南腎臓病患者連絡協議会様

○ 旭川地方腎友会様

○ 釧路地方腎友会様

○ 根室地方腎友会様

○ 苫小牧腎友会様

○ オホーツク腎友会様

○ 紋別地方腎友会様

○ 深川腎友会様

○ 留萌地方水無人腎友会様

御祝儀及び御寄附

○ 北海道透析医会様

○ 札幌透析医会様

○ 中野医院

○ 院長 中野 幸雄 様

○ 市立札幌病院腎移植科

○ 部長 平野 哲夫 様

○ 北海道腎臓病患者連絡協議会様

○ 岩崎 薫 様

○ 室蘭地方腎友会様

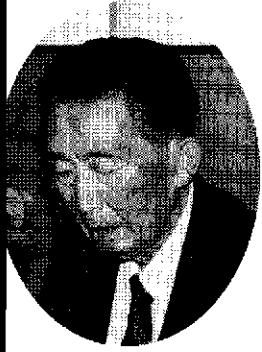
○ 旭川地方腎友会様

○ 小樽・後志地方腎友会様

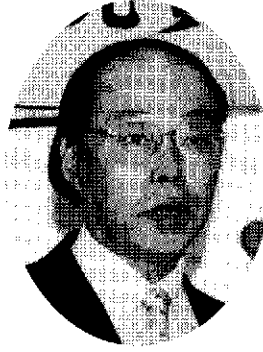
○ 北 征子 様

○ 中村 正子 様

# 祝 賀 会



道腎協会長  
岩崎 薫氏



札幌透析医会会長  
中野幸雄先生



北海道透析医会会長  
今 忠正先生



乾杯の音頭をとる佐藤利國氏



表彰者代表の山川信氏



25年表彰者



カンパニー



20年表彰者



カンパニー



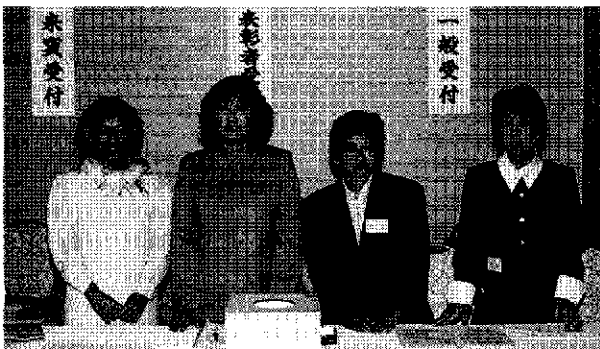
10年表彰者



和やかに



お料理に舌つつみ



受付のメンバー



役員・実行委員のみなさん



祝賀会司会の鈴木友幸氏



式典司会の村本徳雄氏



会話がはずむ中村正子さんと青柳正一氏



抽選をする北征子さん(左)、斉藤一子さん(中)



料理もなかなか好評でした



中野先生をかこんで(中野医院のみなさん)

# 長期透析表彰者名簿

## ◆25年表彰者

### いのけ医院

桜場厚子・石黒富子

### 北三条泌尿器科クリニック

松井弘・藤田隆・石栗久美子

### 清田泌尿器科

菅野清

### 勤医協中央病院

横地啓次・木谷憲男

### 坂泌尿器科病院

又村光則

### 札幌北クリニック

鈴木啓三・佐藤卓・石川みち子

武藤基・高橋繁・加藤義文

正岡正出・渡辺輝子・西出澄子

福島美奈子・木村みや子

村本徳雄・荒山三良・十字修作

### 札幌東クリニック

白川広

### 札幌北楡病院

須藤富美子・須藤哲

### 佐藤医院

種田道男・野原隆雄・阿部安栄

### 市立札幌病院

渡辺とし子・坂梨寿美子

### 仁楡会病院

阿部隆

### 田島クリニック

大西政弘・福士博明

### 中野医院

鎌田伊都子・山川信・新山正紘

小山保順・福原真理子

加藤美智子

### 萬田記念病院

岩本征二

### 南一条病院

木田重信

### 渡井医院

山田裕則・新津由美子・橋本澄

木村百合子

以上46名(敬称略)

## ◆20年表彰者

### 石川泌尿器科

田口慶子・工藤敏子

### 稲積公園駅前クリニック

竹久進

### いのけ医院

猪口恵子・島田雪子・佐藤朱美

### 兼古循環器クリニック

今村まち子

### 河口内科クリニック

小泉歩・田中絃子・匿名

### 北三条泌尿器科クリニック

西海一夫・松見秀也・宮本好和

佐藤美申子

### 清田泌尿器科

木村仁一

### 勤医協中央病院

野崎武・橋本忠男・小林正之

### クリニック198札幌

小川重男・三浦徹・稲津千穂美

市川征治・武田誠剛・武田俊明

日比芳正・里口俊光・林敦美

### 光星泌尿器科医院

津田靖典・国井美枝子

堀井和彦

### 札幌北クリニック

中坂ソワ・権平裕二・金丸洋子

薦田三千代・西野聡子・嶋良子

前田正博・竹山信・横岸沢武春

佐藤良一・山田弘子・高橋喜子

若松千鶴子

### 札幌セントラルクリニック

西川博司

### 札幌東クリニック

菅井かよ子・守実久美

坂上敏弘

### 札幌北楡病院

池内明照・戸松眞紀子

須合清道・木村乃園・永田妙子

七ツ役登代子・松浦涼子

櫻井春江

### 佐藤医院

坪井博子・佐野雄慈

### 市立札幌病院

硯則子

仁愛会外科クリニック

菊池定男

### 新札幌循環器病院

住友奈美子

### 仁楡会病院

猪村和子

### 田島クリニック

平沼喜彦・阿部栄・高橋和子

走川敬子・黒田正己・本庄正子

大竹香・白坂一男・島山和紀

伊藤孝子・佐野博明

### 中野医院

歌川昇・小林芳子・中山恵美子

村中一夫・伊藤富美子

渡辺孝夫・鈴木昭吾・萩原忠男

信太俊一・船木莞

### 新井田医院

下河原泰男

### 南一条病院

小川初枝・貞広文明

### 宮の森記念病院

中村美津恵・高橋美恵子

久々津光明・天野義雄

松本昭彦

### 渡井医院

宮崎忠晴・中出史江・野田岡吉

中村郁雄・永田綾子・岩崎薫

山本光雄・佐藤範子・藤原勝子

大和美恵子・大久保昭子

### 個人会員

島山次郎・石井裕子

以上103名(敬称略)

# ◆10年表彰者

## ●石狩病院

柏谷典昭・大内愛子・丸田登

## ●石川泌尿器科

加藤希良・笠松明美・清野恵子  
鈴木モト・大谷道広・吉田徹

川村利孝・堀善孝・本山真貴子  
佐藤道雄・高橋祐子・横山節子

遠藤兼市・竹田秀雄・塚田悦子  
村井義雄

## ●稲積公園駅前クリニック

佐藤千恵子・種村きよえ

## ●いのけ医院

明上司・堀井素子・馬場三栄子  
森田政友・林めぐみ・竹内良

## ●H・Nメディック北広島

杉吉久美子・高橋光子

## ●H・Nメディック

村瀬文子・井下和子

長嶺伊津美・水林尚子

## ●小笠原クリニック札幌病院

稲岡良子

## ●兼古循環器クリニック

島田年美

## ●清田泌尿器科

棧勇・及川市雄・川島静子  
増田カン・中野ヒサノ

## ●勤医協中央病院

仲治繁・柳田三雄・上原子和也  
赤川良介・山田静江・秋吉恵子

高橋勇・山根昭子・北田三恵子

柳山幸子・柴田鉄夫

クリニック198札幌

前田聡・渡辺作次・谷上一治  
横関優子

●光星泌尿器科医院

佐藤功

●幌南病院

山岡裕子・中岡昭夫・米川美香  
前川彩子・米山惺

●坂泌尿器科病院

池田シズ子

●札幌北クリニック

久原幸江・平山恵子・高野廣行  
小林孝栄・会田哲久・真柳悦子

明上正子・谷口ミサコ・匿名  
渡辺千枝子・杉山宏生

長谷部和雄・伊藤清美

●札幌厚生病院

藤田新一

●札幌セントラルクリニック

前田豊昌・堀田勇・加藤肇  
福井隆義・小田桐修・田中瀧男

●札幌東クリニック

高橋久子・小山内惣之進  
西宮律子・中村止幸・三木紀雄

藪野文子・宮腰照子・鈴木康夫  
山本秀人・山村恵・牧野富士子

伊藤五平・斉藤剛吉

●札幌北楡病院

酒井幸則・木村育子・中川弘子  
河村南行・木村征子・藤井聖子

坂本藤七・松浦昭・高見志保子

近藤寛・新見サヨ子・城戸絹枝

本間康博・高橋信男・谷津信子

斉藤美智子・郁美江子  
菊池三智子・野宮マサ子

●佐藤医院

新居ミヨ・今武雄・横山ゆり子

●三樹会病院

城分キヌ・鈴木禮子・駒野洋子  
竹村猛・大友幸子・佐々木進一

加治屋咲子・佐々木賢治

●市立札幌病院

吉田真紀子・藤井義人・横山良子

●仁愛会外科クリニック

中村順・美馬文江・斉藤好子  
中崎美津子・榊田郁子

坂下利夫・岩部浩子・成田道子  
板山則保

●仁楡会病院

荒井和子・井上京枝・島勝広  
野崎洋子・西順子・福原茂

大黒美枝・望月悦子・蒲喜久雄

●桑園中央病院

杉測祥子・石田尾彩子  
林ヤエ子・本田敏

●田島クリニック

宮本健一・清水・正・宮川龍司  
脇田繁・安部義春・高橋みゆき

石崎悦子・菅原栄美子

●手稲深仁会病院

柿崎博・吉田修子

●ていね泌尿器科

大岡夕エ子

●中野医院

佐々木登美夫・村上範子  
明田仁・斉藤泰子・高柳芳則

片山イツ・玉熊正利・梅沢秀美  
金田和代

●新井田医院

南出陽雄・武田耕作・吉田悦子  
今井好子

●はまなす外科医院

柿岡賢・田中孝幸

●広田医院

蘇武美千子

●萬田記念病院

清水久忠・新野寿美子  
太田幸枝

●南一条病院

種村加都・池田豊見・長谷川功  
立川三夫・高田裕子・上井偉善

鰐淵孝子・大石好子  
早坂マツ子・三上留美子

●宮の森記念病院

竹内睦子・輪島康博・高見良子  
佐藤四郎・立岩務

●恵みの病院

飯坂知子

●渡井医院

鶴川忠三・竹内知子・安井匡子  
斉藤公二・近藤真江・門田修子

鈴木恭子・大波洋助

●個人会員

柳本寛・西村東三

以上206名(敬称略)

# 滝野すずらん公園で おたのしみ炊事遠足



ハイどうぞ!



## 炊事遠足の 準備は大変

今年滝野すずらん公園において、炊事遠足を行いました。

七月二二日(木)に炊事遠足の実行委員会を開き滝野すずらん公園でジンギスカンと豚汁をする事が決定しました。食料、箸、鍋等、その他必要物品の十分な数量を確認し、バスの手配を村本事務局次長に依頼しました。

七月二二日(木)までにポスターと案内状を作成して、各病院に発送しました。

八月二一日(土)に再度集まって、人数分(一三五人)の食料、箸、鍋等の道具、その他ゲーム景品等、必要物品数量の把握を行い、各実行委員に買い出しの割り振りをしました。

前日の二八日(土)には、買い出し物品、注文物品、鍋等を事務所に集めて、材料等を、班に二三人として六班に分けてダンボールに梱包し各々の車に分散して載せました。

八月二九日(日)は先発隊が午前八時までに滝野すずらん公園に集合しました。トイレに行く和管理人





色水ゲームでは歓声が



豚汁まだ出来ないの



開会式風景



ボールをのせてお玉リレー

に断って「場所取り」に走り参加者皆さんの到着を待ちました。

到着後は会長の挨拶から始まり、食料の切り込み、かまど作りなど、参加者各人の得意とする分野で各々、活躍してくれました。白分達で汗をかいて作ったジンギスカンと豚汁はとても美味しかったです。

食後の後片付けをして、各班對抗の「お玉リレー」と「色水ゲーム」を行ない総合点で順位を決定しました。各班入賞を目指して大ハッスルしていました。

終わりの挨拶を行ない、その後持ってきた道具等を駐車場に運び、各々の車に分散して載せ、午後三時ごろまで参加者は公園内を散策し、帰途に着きました。

今回の炊事遠足の唯一の反省は、各班にあらかじめ肉を配布していなかった事です。そのため二重に持って行った班があり、多少混乱しました。来年からは、このような事がないようにしたいと思います。皆さんも、楽しい炊事遠足にするためにご協力をよろしく願います。

(報告 梅田 明 副実行委員長)

# 平成11年度

## 第2回

平成11年10月3日(日)  
AM.10:00~PM.1:00  
北区民センター

日時 平成十一年一〇月三日(日)

午前一〇時~午後一時

場所 北区民センター

出席者 三七名(委任状二〇名)

議長 伊藤 文夫(南一条病院)

### 報告事項

- (1) 春のレクリエーション
  - (2) キリンフェスティバル'99
  - (3) 難病連全道集会
  - (4) 炊事遠足
  - (5) 機関紙「生きる仲間」について
  - (6) 要介護透析患者の通院に関する市役所への要望について
  - (7) 「臓器移植法」改正を求める署名運動について
  - (8) 花火販売・ビアガーデン利用券販売について
- 以上について、それぞれ報告されました。

### 第2回幹事会参加者名簿

鈴木 啓三	金丸 洋子	佐藤 功
柳沼 正一	梅田 明	石井 典子
伊藤 文夫	棚田 英明	宮本 好和
鈴木 友幸	岩館 二男	藤原 勝子
山田 悦子	永田 和之	正岡 正由
堀井 和彦	川村 隆志	小周 由香
三沢 祥子	棚田まゆみ	高橋 幹子
沢田 英子	中村寿美雄	中村ひとみ
雨宮 英子	木村 仁一	遠藤 兼市
西田富美子	我妻 昭一	菅木 芳三
鈴木 英二	前田 吉雄	外崎 豊
新井 静子	畑山 正子	井上 幸子
竹越 良子	澤内 繁雄	(順不同)

### (9) 1 CAPD患者の調査報告

について

道腎協にCAPD患者さんよりCAPDの情報や講演会・話し合いの場を設けてほしいとの要望で、各地のCAPD患者数を調べる事となった。

### (9) 2 臓器移植基金募金箱の調査報告について

各地方腎友会での募金箱の設置状況(個数)を調査し、今後活動方針を検討する事になった。

### (10) その他

秋田県で青年交流会が開催されました。

### 【意見】

中村氏(H・Nメディック)

○要介護透析患者の通院に関する報告について報告事項全体に言えると思いますが、口頭の説明では分かりにくいので書面で資料を添付し、説明して頂ければ分かり易いと思います。又、CAPD患者と臓器移植基金募金箱の調査結果は関連がないので別々に報告して頂きたい。

### 事務局

○市役所(介護担当)との面会内容を詳しく幹事会報告書に付け加えます。又、報告事項

### 討議事項

の資料や調査結果等については検討の余地があります。

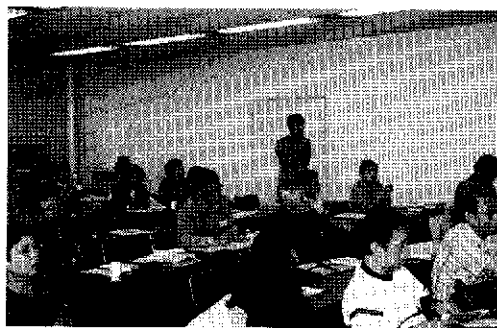
### (1) 腎臓提供者拡大街頭キャンペーンについて(川村実行委員長)

一〇月・九日(火)第一回臓器移植推進全国大会に合わせ腎臓キャンペーンを実施する事になりました。午前には大通り西三・四丁目臓器提供意思表示カードを配布し、午後には大会(式典)とピアニリサイタルが実施されます。

平日ですが是非多くの方に参加をお願い致します。

### (2) 結成二五周年記念事業について(柳沼実行委員長)

一〇月三一日(月)午後二時~四時三〇分ホテルKKR札幌で予定どおり式典並びに祝賀会を行います。メインの長期透析者(一五年以上四六名・二〇年以上一五年未満一〇三名・一〇年以上一五年未満二〇六名)の表彰式があり、五・六名の来賓者を迎え式典が行われます。つづいての祝賀会では梅后



質問・意見も活発に…

流江戸芸「かつほれ」とお楽しみ抽選会も盛大に行ないたいと思っています。尚、一〇月中旬頃各施設に結成二五周年記念品が送られます。幹事さんは会員全員にお渡し下さい。又、記念式典終了後二、三週間以内に表彰者の表彰状と記念品が送られますのでお渡し下さい。

(3) 国会請願署名募金運動について(鈴木会長)

例年行われている国会請願署名募金運動ですが、我々の根幹となる重要な署名運動ですので、各施設の幹事さんは患者(会員・非会員)・スタッフ・家族

等に協力をお願いして下さい。尚、署名の運動の取り組みや請願事項についても詳しく説明しました。

(4) 正月飾り販売について(柳沼事務局長)

一、月上旬難病連協力事業として販売致します。各施設の幹事さんがまとめて、直接難病連にお申し込みください。

(5) 幹事新年会について

新年を迎え一致結束新たな気持ちで頑張りましょう、との意味を込めて自己負担(五、〇〇〇円程)で食事をを行ないます。ここ四年程はホテル札幌会館で行っていますが、皆さんのご意見をお願い致します。

(6) 要介護透析患者の通院に関する要望について(鈴木会長)

来年四月より介護保険が実施されます。又、今年一〇月より申請受付が始まりました。この介護保険は寝たきりや食事・排便等に介護が必要なほど、重度でないと適用(要介護認定)になりません。そこで私達は要介護透析患者の通院に関する要望書を市長宛に提出する事になり

ました。要望の内容は別紙添付のとおりですが、今後実態調査のアンケート等でご協力を頂きながら話し合いや要請等を行いたいと思います。皆さんの協力を宜しくお願い致します。

(7) その他

全腎協発行の役員・事務局担当者のためのハンドブックを配布しました。

(ご意見)

我妻氏(JR札幌鉄道病院)

○腎臓病患者でも臓器提供者になれるか。

○国会署名は氏名及び住所のみで、印鑑又はサインは最近の状況では簡略化していいのではないか。

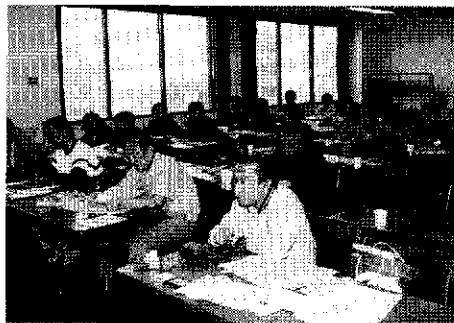
永田氏(佐藤医院)

○来年度より本人が署名して頂く様一点加えてもらいたい。

三沢さん(いのけ医院)

○ここ数年同じホテルで恒例のカラオケ等が行われていますが、以前パークホテルで行った時は雰囲気と食事がとても良かった思い出があります。

食事を主体に場所を選んで頂ければ参加したいと思いま



熱心に討議する参加者

す。

事務局

○透析患者でも腎臓以外であれば臓器提供者に成る可能性があります。

○国会請願署名では印鑑又はサインが必要なのは、との声も全腎協にも出ていますが、現在のところ対外的にも印鑑・サインが無いと無効に成ります。

署名をお願いする場合は、記入漏れの無い様お願いして下さい。

○幹事新年会については皆さんの意見を人事にして検討してみたいと思います。

# 第一回臓器移植推進全国大会

一〇月一九日(火)北海道腎臓病患者連絡協議会と札幌腎臓病患者友の会合同の第一九回腎提供者拡大街頭キャンペーンは臓器移植普及推進月間の中の活動として行われる「第一回臓器移植推進全国大会」札幌開催に合わせて大通四三丁目で、患者、家族、医師、看護婦、

札幌スノーライオンズクラブ、エルムライオンズクラブ、腎移植者の会、腎バンク、難病連、厚生省、道、市、ネットワーク等八六名の参加によって実施されました。当日は気温一五℃とやや低めでしたが心地よい秋晴れの下で行うことができました。平日にもかか

わらず参加者が多かったためか用意した二〇〇個のティッシュペーパー、意志表示カードは約四〇分程で配り終えることができました。そして午後からは、札幌コンサートホール「キタラ」において「第一回臓器移植推進全国大会」が開催されました。

会場には一八〇〇人を超える来場者で盛り上がり厚生大臣感謝状贈呈、心臓移植者による体験発表と進められ、最後に遠藤郁子さんによるピアノコンサートが行われ「癒しの音色とトーク」に観客は感動していました。

本年二月に国内初の脳死者からの提供による臓器移植が行なわれて以来、国民の中に臓器提供への関心が徐々に高まってきました。

このような中で我々の運動がひとりでも多くの国民の皆さんに理解して戴くためにもこれからの活動が続けていくことが大切だと感じました。

(報告 川村隆志 実行委員長)



報道機関からの取材を受けて



道の担当者からも労いの言葉が

# 街頭大拡提供腎



総勢86名の参加者が



よろしくおしま〜す



無料血圧測定も行なわれました



子供に人気の風船も



kitara での全国大会

# 腎提供者拡大街頭キャンペーン参加者

ご協力ありがとうございました

(敬称を略させていただきます)

○ 稲積公園駅前クリニック

沢田 英子

○ いのけ医院

三沢 祥子

○ うえと医院

柳沼 正一

○ NTT東日本札幌病院

梅田 明 町田 義一

前田 エミ 佐藤 孝子

○ 北三条泌尿器科クリニック

宮本 好和 笠原 澄子

○ 清田泌尿器科

木村 仁一

○ 勤医協中央病院

中村 喜公 西田富美子

柳山 幸子 北田美枝子

○ 光星泌尿器科医院

石井 典子 佐藤 功

○ 札幌北クリニック

村本 徳雄 鈴木 啓三

正岡 正由 牧野 弘昭

金丸 洋子 久原 幸江

○ 札幌東クリニック

佐々木美智子

○ 札幌北楡病院

青山美津子 新井 静子

畠山 正子 伊藤 裕子

高見トキ子 松浦 涼子

○ 田島クリニック

三上 照美 棚田まゆみ

○ 手稲溪仁会病院

棚田 英明

○ 中野医院

福原真理子 新山 正紘

○ 南一条病院

三上留美子 岩館 二男

伊藤 文夫

○ 宮の森記念病院

川村 隆志

○ 渡井医院

山田 悦子 藤原 勝子

田辺 喜子 佐藤 範子

鈴木 恭子

○ 自衛隊病院

苅木 芳三

○ 仁楡会病院

澤内 繁雄

○ 市立札幌病院

平野 哲夫 佐藤 貞澄

○ 札幌スノーライオンズクラブ

八田 信之 松井 務

福井 俊彦 山崎 昭一

芝田 重好 前田 哲男

金木 紀隆 菅原 實

名越 茂

○ エルムライオンズクラブ

能登 昭夫 佐々木隆一

中村 毅 山本 俊規

戸沢 眞 木村 良三

勝田 裕司 三浦 征夫

斉藤 要一 杉本 拓

杉本 寿光 朝妻 優

倭 雅則 福田 幹夫

安原 浩司 新田 雅幸

○ 北海道腎臓バンク

横山寿美子 宮崎 正明

○ 腎移植者の会

小田 憲司 小林 弘子

○ 札幌市

林 小白合 加藤 誠也

○ 道庁

合田 英人 末澤 秀樹

○ 溪和会江別病院

椿分百合江 佐々木洋志

佐々木順子 佐々木美帆

佐々木美美



満員の観客でうまるkitara大ホール



国会請願の署名もしていただいた

## 「臓器の移植に関する」法律 改正請願署名結果報告

施設名	署名数
いのけ 医院	40
うえと 医院	60
H・N・メディック北広島	97
N T T 東日本札幌病院	80
兼古循環器クリニック	110
河口内科クリニック	58
北三条泌尿器科クリニック	60
清田泌尿器科	10
勤医協中央病院	142
芸術の森泌尿器科	32
光星泌尿器科医院	80
幌南 病院	123
札幌北クリニック	402
札幌厚生病院	134
札幌東クリニック	420
札幌北榆病院	609
札幌南青洲病院	16
佐藤 医院	30
三樹会 病院	90
J R 札幌鉄道病院	43
自衛隊札幌病院	30
市立札幌病院	20
仁愛会外科クリニック	115
仁榆会 病院	350
田島クリニック	310
手稲溪仁会病院	58
ていね泌尿器科	170
中野 医院	170
新井田 医院	150
広田 医院	38
萬田記念病院	40
南 条 病院	510
宮の森記念病院	20
恵み野 病院	70
渡井 医院	270
合 計	4,957

## ◎皆様の御協力ありがとうございました 花火販売結果報告

(平成11年度)

施設名	販売売上額	還元金
石 狩 病 院	10,068	2,350
稲積公園駅前クリニック	8,500	2,050
H・N・メディック北広島	2,500	550
N T T 東日本札幌病院	7,300	1,750
兼古循環器クリニック	9,900	2,400
北三条泌尿器科クリニック	2,815	550
芸術の森泌尿器科	5,100	1,200
札幌北クリニック	32,500	7,150
札幌北榆病院	22,300	5,050
札幌セントラルクリニック	29,300	6,750
ていね泌尿器科	33,100	7,750
田島クリニック	19,900	4,550
中野 医院	6,200	1,350
はまなす外科医院	23,200	5,500
南 一 条 病 院	5,700	1,200
合 計	218,383	50,150

## ビアガーデン利用券販売結果報告

(平成11年度)

施設名	販売売上額	還元金
うえと 医院	5,000	500
北三条泌尿器科クリニック	10,000	1,000
勤医協中央病院	20,000	2,000
光星泌尿器科医院	40,000	4,000
札幌北クリニック	184,000	18,400
札幌北榆病院	31,000	3,100
三樹会 病院	10,000	1,000
仁樹会 病院	50,000	5,000
渡井 医院	20,000	2,000
合 計	370,000	37,000

投稿

多くの人達に支えられて

岡崎 政司

(新井田病院)



時が流れ平成五年九月定年退職を迎えました。在職中の繁忙な日々の中にあつて、クレアチニンが安定していることに比べ、定年退職後、体への負担が軽減された状態の中でクレアチニンが上昇し続ける矛盾に驚きを隠し得ませんでした。人間という動物は常に心身共に適度な緊張感を持つことが生きてゆく上で必要であることに実感した次第です。

昭和五八年七月上旬、満五〇歳の時、急性腎不全で緊急入院した時から私の腎臓病との闘いが始まりました。入院時、妻には先生から「命の保障は出来ないが、やるだけの事はやって見ましょう」と告げられていたことを後で知ったのですが、先生はじめ看護婦さんの献身的な看護治療により、腎臓機能が回復し入院二ヶ月、自宅療養一ヶ月でその年の一〇月職場に復帰することが出来ました。

その後順調に推移しておりましたが、自己管理の欠如が元で、回復した筈の腎臓機能も徐々に低下し始め継続的な通院治療及び検査入院を受けるような状況が続いておりました。

平成七年初め頃から「そろそろ人工透析への準備をしなければ」という先生からの診断から逃れる為、同年四月から通院せず、別途腎臓機能の回復に努力したのですが結果的には何の効果も得られず平成八年一月八日緊急入院となり即人工透析に入り現在に至っております。入院時のクレアチニンの数値は一一、一でした。今思えばこんなに悪くなる前に透析に入っていたらと後悔先に立たずを痛感したものでした。

まで、看護治療に当たって下さった病院長の先生、看護婦さんをはじめ私を取り巻く多くの人達に支えられている事に感謝し、「人は生きていくのではなく生かされている」という現実を見据え皆様のご恩に少しでも報いるべく意義ある

投稿

合併症と闘いつつ

金丸 洋子

(札幌北クリニック)



「いの？」等、不安と悲しみで心身共に腰が抜けました。しかし立派な手術で術後三週目には歩ける事を確信、急に不安から解放され喜々としてリハビリに励み二カ月で退院しました。

軽度のものから重度まで、治るものから容易に治らぬものと、透析年数に係わらず多くの合併症がある中、私は困難なアミロイド症です。

一五年目より手根管、腱鞘炎と現在二四年目にして掌、手首、手の甲余す処なくメスがはいっています。更に、九年目には「破壊性脊椎炎」となり「人生もう歩けな

それなのに二年程で頸椎が壊れました。腰、頸、何れも壊れるのですからまず歩行困難。まして頸では腕の脱力でも持てず何もできません。恐さで一応口先では手術を拒否すれども無駄です。治療



法は手術のみです。

三月一〇日前回の同じ手術法、

偶然、私を知り尽くした主治医に恵まれ、苦しい中にも心が随分和らぎました。無念ながらもベッド上の患者となり、多勢の先生と看護婦さんに守られ、最新式の「大手術」が行なわれました。この手術も見事成功し二カ月で退院できました。ところが脊椎組織縮てがアミロイドに冒され術後の装具が一年も外せません。その上、術後六ヶ月目には頸の中心部にずれが生じ、この時再手術が必要な事予感。術前の説明で最大限に危険である事を知っていたので、もう「人間最期」と思い、シビレ、フラツキを伴いつつも、紅葉の奥人瀬十和田、冬の定山溪、春の鳥根、又、車で稚内サロベツ、今金、瀬棚と遊び呆けました。

親切で思いやり多き仲間が、私に手術を忘れさせようと次々に忙しい程に計画を立て勇気づけてくれました。しかし、一年半もする頃には、ずれが一歩も進行、外来受診で写真を見る度絶望的になり、生活をしながらもストレス一杯の日々でした。耐えるのも程々、今年二月悲壮な決意で再手術をお願いしました。

スタッフで手術が進められ、九時間程でしつかり意識が回復できました。困難な手術を成功に繋げるため、術後の体力保持に最大の医療が施される中、残念ながら写真判定により三月二、四日三度目の手術が必要でした。この時はベッド上ですし術後の体を維持するのが精一杯で、恐怖を覚える余裕すらなく歩ける事を望みながら時が過ぎました。私の頸は前後両面を二度も開かれ、頸椎二番から胸椎上部迄しつかりと金と自分の骨で固定され、現在に至っていますが手術は大成功。外来受診でも、先生は「OK、OK」と喜び一杯です。私も当然ホッとします。実に患者は無力ですが、お医者様と看護婦様の高度医療を頂き、見事復活できました。私は「腎移植」の道を選んではいませんのでこの様に悪くなる度、整形の先生の指導を頂きます。日頃精一杯の透析生活で体力を強く保持、いかなる治療にも立ち向かえる様努めたいものです。我々と健常者の差がなく医療が行われる時代に恵まれ大変幸せです。

(一九九九・九・一六記)

平成一一年七月一日(休)に、平成十二年四月一日より実施される、介護保険制度における要介護透析患者の通院の為の「移送」について、札幌市役所保健福祉局高齢福祉部・介護計画担当と鈴木会長・柳沼事務局長が面会話し合いを致しました。来年四月一日より介護保険制度が実施されますが、この制度では通院のための「移送」が含まれていない事が判っています。私達透析患者は介護保険で要介護透析患者の「通院」を札幌市で単独事業(特別給付)として「移送」サービスに取り組むよう希望

相談し、又低所得者に対する減免措置をどの様に考えているか、現段階での準備状況をお伺い致しました。介護計画担当の方からは、札幌市の介護保険での「移送」サービスについては実施の計画はなく、独自事業としての検討もありません。現在実施している介護(高齢者福祉)事業をこの介護保険でどこまで適用できるかが当面の検討課題となっている、また要介護透析者の通院については、身体障害者の認定者なので高齢者福祉ではなく

## 介護保険制度について 札幌市役所と面談する

障害福祉課の管轄ではないか、そして低所得者に対する保険料の減免は厚生省が決める事で全国的レベルでの話になります。尚この介護保険制度は三年後見直しが行われます。以上の回答を戴きました。その後、七月二二日に障害福祉課でも面会し、現在透析患者として通院においてヘルパー制度を利用して通院している方が数人いる事をお話しして、今後介護保険制度が実施された場合どのようになるか、また新たな施策があるか伺いました。

現在の計画を実施中で新たな施策はなく、介護保険制度との兼ね合いがどのようになるか今の所わかりませんが、透析患者についても今までどおり各区役所(障害福祉課)に通院ヘルパーの申請をして戴ければ、審査の上でヘルパー制度等の対象となります。これらの話し合いを得て、十月二日の幹事会で皆さんの承諾を戴きましたので、後日札幌市に要介護透析患者の通院に関する要望書を提出致します。今後も市側と話し合いの場を作っていきたいと思致します。

(報告 柳沼事務局長)

### 血液透析とは

前章までに腎臓の働きや腎不全について述べて来ました。腎臓が病気に侵され、その機能が停止した状態が腎不全であり、そのために体液の恒常性を保つことができなくなり生命の維持が困難となります。

人工的に体液の恒常性を保つことができれば生命を維持することが可能です。そのためにはどうすればよいでしょうか。

もう一度、腎不全時の体液は、正常時と比べどのように変化しているかを考えてみましょう。腎臓の重要な作用の一つは老廃物を排泄することです。

腎不全になると電解質のバランスがくずれ、老廃物が血中へ蓄積します。

血液透析とは血液中に蓄積したこれらの物質を半透膜の作用を利用して血中より除去しようという方法です。すなわち半透膜を利用して腎臓の糸球体の役目をさせようというわけです。

半透膜としてセロファン膜やクプロファン膜その他を用いています。セロファン膜は電子顕微鏡で見ることが出来ない小さい無

数の孔があいていて、その孔を通じて物質が入りします。この孔の直径は二〇〜六〇Åという非常に小さいものですから、非常に小さい物質しかセロファン膜を自由に通過することができません。

すなわち血液透析とはこの半透膜であるセロファン膜でできたダイアライザーと呼ぶ血液濾過装置を用い、セロファン膜を介して、血液中から体内に不要な物質を除去し、透析液という腎不全にとって適正な組成をもつ溶液中から、体内に不足している物質を体内へ補給することを目的としています。腎不全の時に体内へ蓄積する電

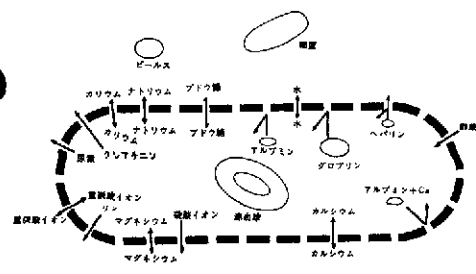


図7 セロファン膜の孔の大きさと物質の比較

解質、老廃物や水分はこの小さいセロファン膜の孔を通過することができません。しかし血球、血漿蛋白やそれについている多くの重要な物質、およびホルモンなどは通過しません。また細菌やウイルスはセロファン膜の孔の大きさに比較すれば非常に大きいので通過することができません。(図7)

セロファン膜のこのような性質は私達の目的とする腎不全の治療に都合がよいわけです。それではこのセロファン膜を利用してどのようにして不要な物質を除去することができるのでしょうか。

(図8)に示すようにセロファン膜を介して二つの溶液があるとしますと溶質は濃度差にしたがって高濃度の側から低濃度の側に移ります。二相の溶質の濃度が同じになるまで溶質は移動しつづけます。腎不全の場合には尿素のようにほとんど除去してもいいもの、カリウムのように一部除去したいもの、カルシウムのように血中へ補給しなくてはならないものがあります。

そのために適切に調整された透析液を用います。ですから血液透析ではセロファン膜を境にして一

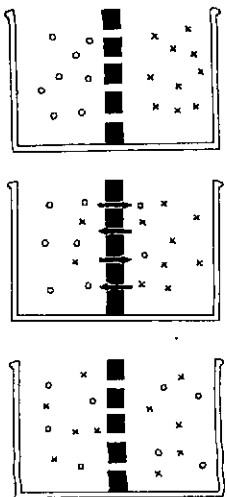


図8 拡散の原理

- (1) 人工腎の役割
  - ① 電解質のバランスを保つ
  - ② 余分な水分を取り除く
  - ③ 血液中のpHを一定に保つ
  - ④ 体内の老廃物を取り除く
- 以上が人工腎の役割です。ではこの原理はどうなっているのでしょうか。

(2) 原理

① 拡散  
血液透析の原理の一つは、溶質の拡散という現象を利用してあります。すなわち、濃度の異なる二つの溶液を半透膜を境にしておいた場合、双方の濃度が同じになるまで、濃度の高い方から低い方へ溶質が移動しつづけるという現象を

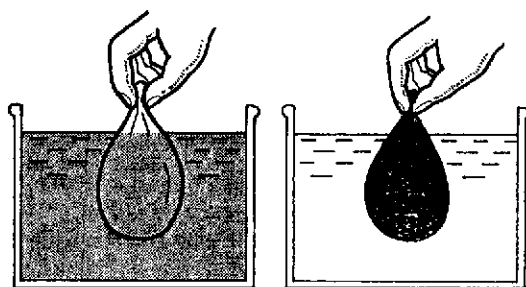


図9 拡散

利用したものです。(図9)

溶質が拡散する速度は、二つの溶液の濃度差が大きいほど速く、溶質の大きさが小さいものほど速くなります。また半透膜の小孔の大きさとより大きい物質は、半透膜を通過できず拡散現象は起りません。

この性質を利用して血液透析では、血液中に過剰に蓄積した老廃物や電解質等を透析液中へ移動させます。また同時に腎不全のために体内に不足している物質を透析液中より血中へ必要量だけ補給します。

透析液が細菌やウイルスに汚染されることがあっても、細菌やウイルスは、セロファン膜の小孔に比べて、非常に大きいため、血液

中へ移動することはありません。しかし細菌の産生する発熱物質であるパイロゼンは、セロファン膜を通過できるため、体内に入り、そのため発熱することがあります。これを防ぐため、透析液の取り扱いには充分注意する必要があります。

いいかえると、血液透析とは、拡散によって物質交換を行うものであります。

拡散効果をよくするための注意事項、拡散効果の低下を防ぐための注意事項があります。それらについては別の章で詳しく説明します。

拡散現象を利用することにより、過剰の溶質を除去することはできますが、体内に過剰に貯溜している水分は除去できません。

水分の除去は、滲透圧の差を利用したり、限外濾過という方法で除去します。

それでは次に水分の除去方法について説明します。

② 滲透圧

濃度の異なった溶液を半透膜を境においておいた場合、拡散現象とは反対に、水は濃度の低い方から高い方へ移動します。この水分を引きつける力を滲透圧といいます。この性質を利用して、透析液の滲透圧を適当に調節することにより、血液中より透析液側へ水分を移動させることができます。(図10)

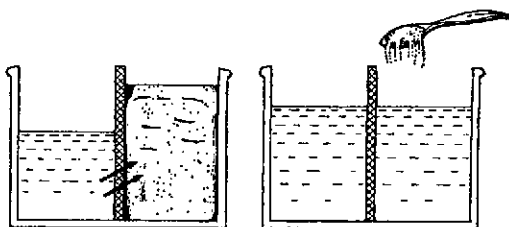


図10 滲透圧

腹膜を利用して透析を行う腹膜透析では、水分の除去は、高滲透圧の透析液を用いて行っています。しかし血液透析では、あまり高い滲透圧の透析液を使用することはできなく、滲透圧差のみでは、十分な水分除去はできません。そこで限外濾過という方法を用います。

また滲透圧は、透析液の濃度と比例しますから、滲透圧を測定することによって透析液の濃度を知ることができます。滲透圧は簡単に短時間で測定できるので透析液濃度の異常をチェックするために透析開始前に滲透圧を測定しています。

(参考文献「自主管理透析」(株)栄光出版社)

キリンフェスティバル'99  
参加報告書

七月一八日(山)うす曇りの中札幌腎友会を代表して、うえと医院の一行(会員三名と看護婦一名)は、千歳へと車を走らせました。到着後さっそく臓器提供意思表示カードを受け取り配布しました。さすがにお祭り会場らしく賑やかで出店やビールサービスもあり、人の波が続き、意思表示カードは二時間余りで殆ど配り終えてしまいました。参加した皆さんと一緒に昼食となり、キリンビールも満喫し充実した一日でした。

(報告 柳沼)

新幹事紹介



山崎 浩一  
(芸術の森泌尿器科)

## ＜事務局活動経過報告＞

- 平成11年  
6月24日 結成25周年記念事業実行委員会  
(クインテス9名)  
6月27日 春のレクリエーション(栗山パラ  
ダイスヒルズ57名)  
7月1日 介護保険制度について質問のため  
市役所訪問  
事務局打合せ(クインテス6名)  
7月8日 25周年記念事業アンケート発送  
「ぜんじんきょう」No174発送  
7月18日 キリンフェステバル'99(5名)  
7月22日 第1回炊事遠足実行委員会(クイ  
ンテス8名～他2回)  
「生きる仲間」No19発送  
8月5日 事務局打合せ(クインテス6名)  
8月10日 25周年記念事業表彰者名簿作成  
(他8回)  
8月29日 炊事遠足(滝野すずらん公園135名)  
9月2日 25周年記念事業案内状発送  
(他1回)  
事務局打合せ(クインテス5名)  
9月9日 「ぜんじんきょう」No175発送  
「生きる仲間」編集委員会(クイ  
ンテス7名)  
9月16日 腎キャンペーン実行委員会(クイ  
ンテス10名～他2回)  
「どうじん」No75発送  
9月21日 第2回幹事会打合せ(クインテス  
13名)  
10月3日 第2回幹事会(北区民センター38  
名)  
10月5日 国会請願署名募金用紙発送  
10月7日 25周年記念事業受付名簿作成  
(他2回)  
事務局打合せ(クインテス6名)  
10月16日 25周年記念事業出席者名簿・表彰  
者名簿・表彰状確認作業(他2回)  
10月19日 第1回臓器移植推進全国大会(札  
幌コンサートホールキタラ)  
腎提供者拡大街頭キャンペーン  
(大通西3丁目85名)  
10月28日 25周年記念事業最終打合せ(クイ  
ンテス16名)  
10月31日 結成25周年記念式典並びに祝賀会  
(ホテルKKR札幌116名)

## ■事務局だより■

◎全腎協の第29次国会請願署名募金運動と  
JPCの国会請願署名募金運動にご協力  
ありがとうございます。全国で100万名、  
全道で5万名、札幌では最低2万名の署  
名を目標に頑張っています。皆様の尚一  
層の健闘をお願いします。(1人当り20  
名の署名を頑張ろう!!)

◎難病連からのお正月飾りの販売あっせん  
事業が始まります。

◎ご寄付頂戴致しました。会活動に役立た  
せて頂きます。ありがとうございます。

- 中野幸雄先生(中野医院)より  
9,271円
- 西村東三様(個人会員)より  
4,000円
- 故・木村康隆様(札幌セントラルクリ  
ニック)ご遺族様より
- 故・石原弘一様(手稲溪仁会病院)ご  
遺族様より  
50,000円

## 編集後記

今次「生きる仲間」をご覧に  
なり満足いただける内容でした  
でしょうか。読者の皆さんの立  
場になって努力したつもりです  
が、ご意見がありましたら、事  
務局までお知らせ下さい。

今年も残り少なくなり、また  
寒い北風が吹き、本格的冬の到  
来となりますが、風邪をひかな  
いようにしたいものです。

### 風邪対策

- ① 手洗い、うがいの励行。
  - ② 大根の辛い部分や長ネギを  
細かく刻んだものやタマゴの  
白身などを食する。
  - ③ 体を暖めるため、シヨウガ、  
梅干し、ニンニクを食する。
  - ④ 服装と温度差に注意する。
  - ⑤ 十分な睡眠と栄養が大切。  
万一、風邪をひいたら、ピタ  
ミンCを多くとること。但し果  
物はカリウムに注意。
- それでも駄目なら医者に世話  
になりこの冬を乗り切りたいも  
のです。
- (友)